



地域経済動向調査報告

平成30年度 第3四半期（10～12月）

〔総論〕

「江津市の経済は、緩やかに回復している。」

	国	県
10月	景気は、緩やかに回復している。	個人消費は緩やかに持ち直しているほか、生産活動は総じてみれば回復しつつある。雇用情勢も改善しており、人手不足感が広がっている。
11月	景気は、緩やかに回復している。	
12月	景気は、緩やかに回復している。	
参照	内閣府「月例経済報告」	松江財務事務所「島根県の経済情勢」

〔調査要領〕

- (1) 調査時点 2019年1月31日時点
- (2) 調査方法 郵送により実施
- (3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

業種	配布数	回答数	回答率	回答構成率
全業種	98	63	64%	100%
製造	20	15	75%	24%
建設	22	17	77%	27%
運送	7	6	86%	10%
卸・小売	30	15	50%	24%
サービス	19	10	53%	16%

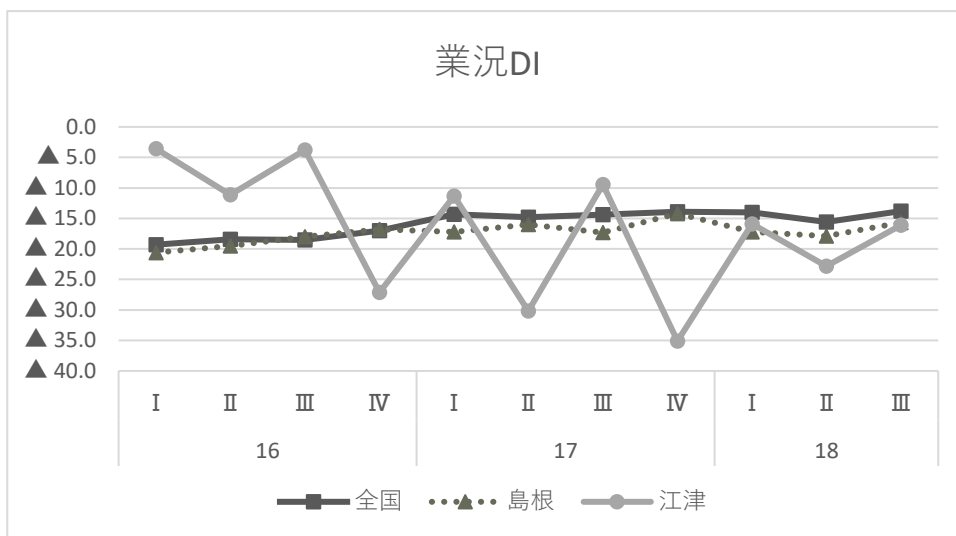
1. 業況

(1) 業種別の業況DI (各期間比較)

	前年同期と比べた 今期の状況	前期と比べた 今期の状況	前年同期と比べた 来期の見通し
全産業	▲ 21	▲ 16	▲ 26
製造業	0	0	▲ 13
建設業	▲ 24	▲ 24	▲ 35
運送業	▲ 50	0	▲ 50
卸小売業	▲ 33	▲ 20	▲ 29
飲食・サービス業	▲ 10	▲ 30	▲ 10

(2) 業況DIの推移 (前期比)

2018年10月から12月の業況DIは前回調査▲22.8から今回調査▲16.1とマイナス幅が縮まった。業種別にみても、卸小売業で前回調査▲7.1から今回調査▲20.0と悪化したが、そのほかの業種では横ばい及び好転の様子が見受けられた。

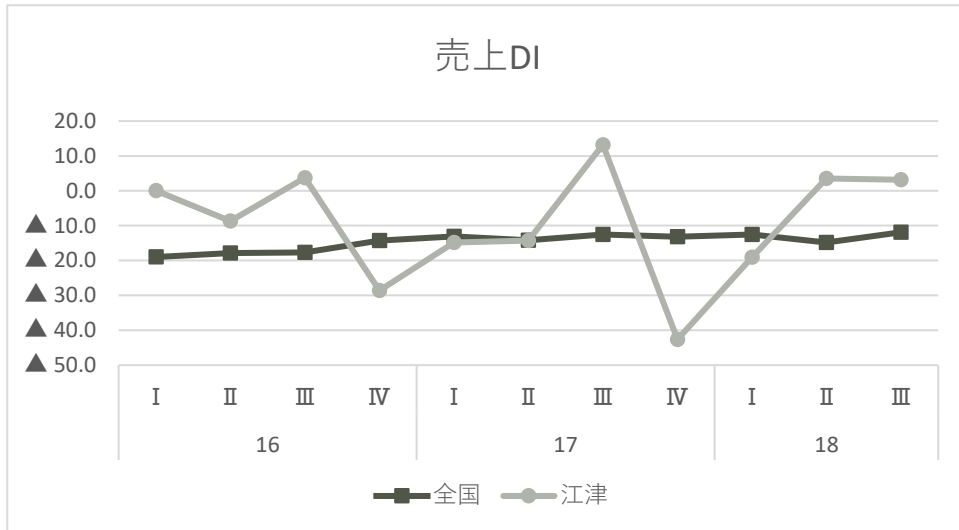


2. 売上高

(1) 売上高DIの推移（前期比）

2018年10月から12月の売上高は前回調査3.5から今回調査3.2とほぼ横ばいの状況。

業種別にみると、特に製造業において前回調査26.7から今回調査46.7と大幅に増加傾向。建設業は▲11.8から▲17.6、卸小売業は21.4から13.3と若干減少しているが、概ね回復基調にある。

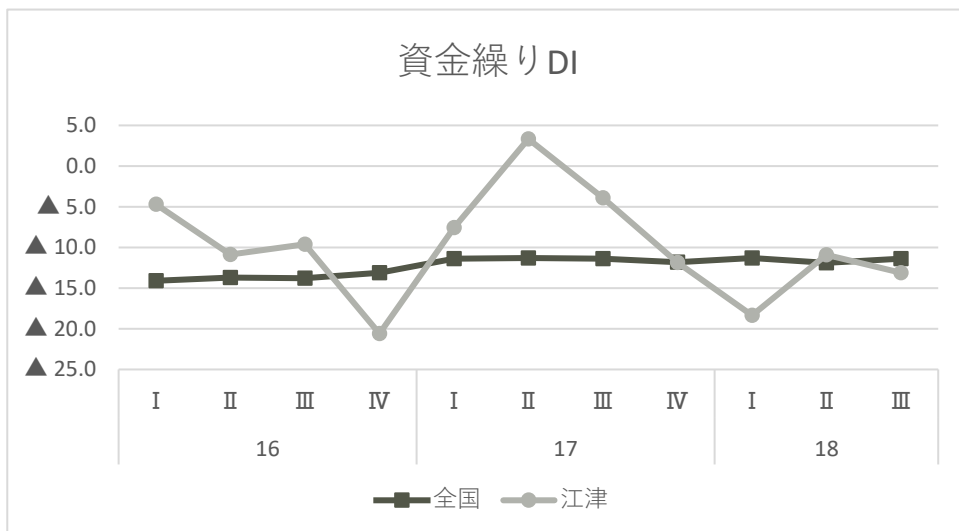


3. 資金繰り

(1) 資金繰りDIの推移（前期比）

2018年10月から12月の資金繰り状況は前回調査▲10.9から今回調査▲13.1とマイナス幅が広がっている。

製造業、建設業、卸小売業においてはマイナス幅が広がり、運送業、飲食サービス業においては回復が見られた。

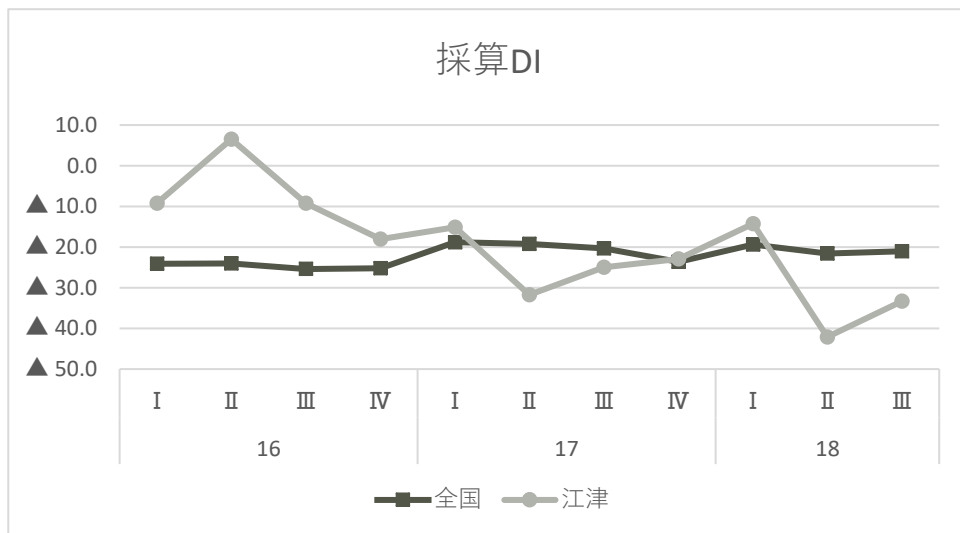


4. 採算（経常利益）

（1）採算（経常利益）DIの推移（前年同期比）

2018年10月から12月の採算は前回調査▲42.1から今回調査▲33.3とマイナス幅が縮小した。

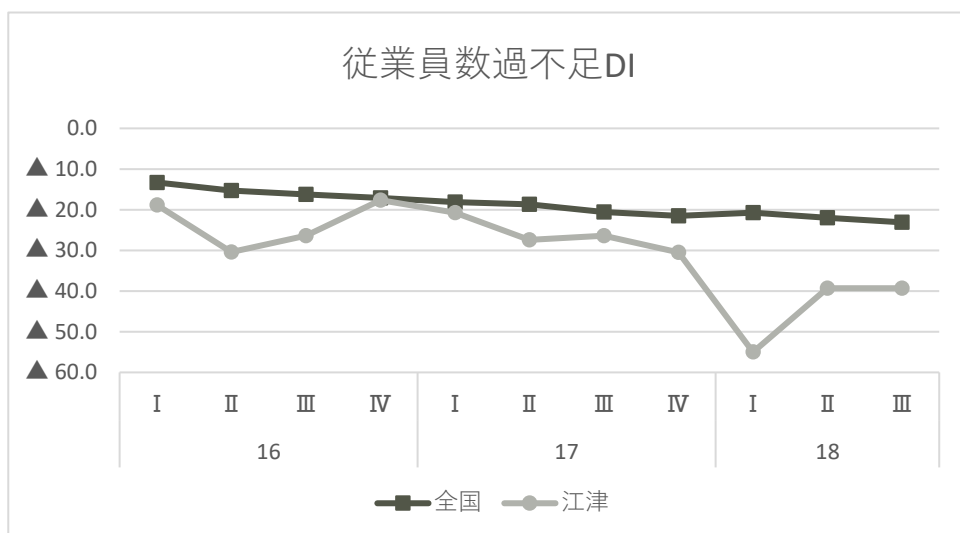
前回調査と比較して、建設業が▲58.8→▲29.4、運送業が▲100→▲50とマイナス幅が大きく縮まった。見通しも前回調査▲38.9→▲23.2と回復基調である。



5. 従業員数過不足

（1）従業員数過不足DIの推移（今期水準）

2018年10月から12月の従業員数過不足は前回調査と同じく▲39.9と人手不足感が否めない。特に卸・小売業では前回調査0から今回調査▲26.7とマイナスへ転じた。



6. 在庫水準

(1) 在庫水準DIの推移（今期水準）

2018年10月から12月の在庫は、前回調査7.9から今回調査▲10.0と推移。
卸・小売業は前回調査35.7と在庫過剰であったが、今回調査では▲6.7と在庫不足に転じたため。

